

文化・芸術



「日本近代絵画2」から

藤田嗣治展示風景

現在開催中のベストメタ^{メタ}と伝えられる「コレクション展の展示」と、当館初代館長・大室2―2では、藤田嗣治を中心、渡仏しマチスに師事した中川紀元や群馬県出身で同じく渡仏した南城一夫らの作品を中心に展示しています。

展示風景左端の作品「若い女」は、藤田が26歳で単身渡仏した1913年ごろの作品です。パリに渡ってから

の藤田はルーブル美術館に通い、古代ギリシヤやエジプトの美術の造形を研究していました。豪華な額ですが、「若氣いっばいの藤田が額に負けない絵を求

〈名画の扉〉

大川美術館企画展から

(池田)